

(対象期間：2022/8/22～2022/8/26)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2022年8月26日)

【株式市場】

22日はジョコ大統領がエネルギー補助金の支出を減らすために補助金付き燃料価格の値上げの決定を発表し、インフレへの警戒感から株式市場は下落しました。23日、インドネシア中央銀行（BI）は市場の予想に反して政策金利を0.25%引き上げました。利上げを受けて通貨ルピアは堅調となり、株式市場も上昇しました。25日は利益確定売りが見られ上値の重い展開となりました。26日もジャクソンホール会議におけるパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の講演を前に様子見姿勢が強まりました。インドネシア株式市場は前週末比下落しました。

2022/8/19	2022/8/26	変化率
7,172.43	7,135.25	-0.52%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2022年8月26日)

【債券市場】

22日、翌日のイスラム国債入札やBIの金融政策決定会合を前にして利回りは上昇（価格は下落）しました。23日のイスラム国債入札では、短期債への強い需要が見られ好調となりました。同日BIは、政策金利の引き上げと、イールドカーブの平坦化（フラットニング）を目指して短期国債を売却し、長期国債の買入をするオペレーションツイストを発表しました。発表を受けて短期の国債利回りは上昇、長期国債の利回りは低下しました。その後週末にかけて特に材料が無い中で短期債利回りは上昇、長期債は小動きとなりました。10年国債利回りは前週末比低下しました。

2022/8/19	2022/8/26	変化幅
7.108	7.064	-0.044

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2022年8月26日)

【為替市場】

22日は補助金付き燃料価格の値上げ決定を受けてインフレへの警戒感からルピアは下落しました。しかし、23日にBIが市場の予想に反して0.25%の利上げを行い金融政策へのタカ派化が確認されたことや、中国の景気刺激策の発表を受けて中国の景気回復期待が強まったことなどからルピアは上昇しました。週末にかけてはジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の講演を前に米ドルを買い戻す動きが広がり、ルピアは対米ドルでやや下落しました。ルピアは前週末比対米ドル、対円ともに上昇しました。

2022/8/19	2022/8/26	変化率
0.9223	0.9241	+0.20%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社は関係がありません。